

源氏物語を語るには欠かせない
日本を代表する源氏絵の名宝が
尾道にひととき里帰りします。

「浮舟」

令和6(2024)年

10.26プレオープン

27日(日)はお茶会のため公開はしてありません

10.28月

▶11.4月

浄土寺 阿弥陀堂

10:00-16:30 (16:00最終受付)

一般 1,500円 (庭園等内拝含む)

大・高生 500円 (中学生以下無料)

団体割引及び障がい者割引適用

室町時代の後期、
土佐派の絵師による作と
伝えられるこの作品は、

我が国の

源氏物語の文化を表す
貴重な文化財です。

『浮舟』と『夕顔』は

日本最古の

現存する絵であると、
日本の美術史学者であり、

学習院大学の

小林忠名誉教授は語られます。

「夕顔」

9日間限定
特別公開

源氏物語図 扇面貼交屏風



浄土寺蔵源氏物語図扇面貼交屏風とは...

六曲一双の屏風に、源氏物語の場面を描いた60枚の扇面を概ね四季の順に張りつけ、室町時代の後期、土佐派の絵師による作と伝えられます。



冬



春

何故、

何時、誰が、どんなご縁があって...

国宝の寺・尾道浄土寺に納められたかは未だ解りません。室町時代16世紀前半と推測される制作年で、その技法は土佐派の画風を強く表す名作です。今その屏風は、多くの研究者たちの研究対象として、東京国立博物館に預けられているのですが、この度の令和6年10月26日～11月4日の、わずかな期間だけ、尾道への里帰りが実現します。是非ご高覧下さい。

現在、高校の教科書や参考書に登場し、源氏物語や扇をテーマとしたジャンルの企画展においては、強く意識される日本の文化財として、認識されています。



東京国立博物館
「やまと絵展」(2023)



NYメトロポリタン美術館
「The Tale of Genji (源氏物語展)」(2019)



サントリー美術館
「扇の国、日本」展(2018)

掲載書籍

『改訂版 学習者用デジタル版 プレミアムカラー国語便覧』(2024下旬発行)
『改訂版 プレミアムカラー国語便覧』(数研出版株式会社)(2023発行)
『源氏物語～反復と模倣～』(熊野純彦著・作品社)(2020発行)
『国宝事典 第4版』(便利堂)(2017 発行)
『朝顔の姫君と夕顔の姫君』(新典社)(2017発行)

国内外を問わず、源氏物語の展覧会や研究論文にも取り上げられ、徳川源氏に並び評されています。

屏風の尾道里帰り記念特別講演会開催

佐野みどり教授

11月3日[日] 浄土寺 方丈の間
(阿弥陀堂に移動して屏風を見ながら解説も致します)

入場料：展観料(1,500円)が必要です。

1回目 10:30-12:00 開場30分前・定員50名
「源氏絵の世界 ―響き合うイメージをめぐって―」

2回目 14:00-15:30 開場30分前・定員50名
「浄土寺本源氏物語扇面散屏風を読み解く」



著書に、『じっくり見たい源氏物語絵巻』『新編名室日本の美術10巻 源氏物語絵巻』(小学館)『風流 造形 物語』(スカイドア)、『源氏絵集成』(芸華書院)、『中世絵画のトリックスI、II』(編著、青簡舎)、『感じて見よう! はじめての日本美術』(教育画劇)など。

1982年東京大学大学院博士課程満期退学。文学博士。2021年学習院大学定年退職。2021年1月より國華主幹。文化財審議会専門委員、古墳壁画の保存活用検討委員会委員等、文化財の保護活用にかかわる審議会委員を歴任。根津美術館理事、文化財建造物保存技術協会理事。

要予約 特設ページのメールフォームより申し込み下さい。(定員になり次第で切らせて頂きます)



会場：真言宗泉涌寺派 大本山 浄土寺/尾道市東久保町20-28/JR尾道駅よりバスで約6分(※会場には駐車場がありませんので公共交通機関をご利用下さい)

源氏物語図扇面貼交屏風特別講演会申し込みQRコード



【主催】源氏物語図扇面貼交屏風特別公開実行委員会【共催】大本山 浄土寺/NPO法人 茶の湯歳時記同好会【後援】尾道市・尾道市教育委員会・尾道商工会議所・尾道市文化協会・尾道ロータリークラブ・尾道東ロータリークラブ・尾道観光協会・国際ソロプチミスト尾道・中国新聞備後本社・株式会社尾道新聞社・尾道エフエム放送

お問合せ 実行委員会事務局 ☎084-930-4227 (村上アーカイブス内)